

平成 28 年度京都景観市民 会議が開催されました。

「平成 28 年度京都市景観市民会議」は 8 月 28 日（日）午後、京都市景観まちづくりセンターで開催されました。

今回の会議は、まず「有識者」として会議に出席する、日経 BP 社副編集長／嵯峨正覚寺副住職の鶴飼秀徳さん、「京の社家を学ぶ会」の伊藤尚治さん、（株）八清代表取締役／都市居住推進研究会代表代行の西村孝平さん、タウン雑誌 Leaf を発行する（株）リーフパブリケーションズの中西真也さんの 4 名から話題提供。鶴飼さんは、寺院の多くが危機に瀕している、その原因は地域コミュニティの変質と衰退による檀家減少や死生観の変化などにより、江戸時代以来の檀家制度が崩壊の局面にあると訴え、また西村さんの京の不動産事情として、ホテル用地の不動産価格が高騰し、バブル現象が起こりつつある、という報告が興味を惹きました。一方で、中西さんによる、京都は開発の結果、都市のホスピタリティが確実に上がり、飲食店のレベルは向上し、街角は清潔になった・・・という意見も耳に残ります。

休憩を挟んで、ワークショップ。市民公募委員 16 名に京都市デザイン会議（建築家協会・建築家協同組合・京都建築設計監理協会・府建築士会など）のメンバーと有識者を加えた 36 名が 4 つのテーブルに分かれ、先の話提供を受け、特に「社寺のある風景」に重点をかけて、「歴史的景観を残すうえでの問題点」「そのためにできること」をテーマに活発な議論がなされました。筆者が着いたテーブルでは、都市づくりに於ける保全と開発のジレンマ、そのコストを誰が負担するか？ 単なるノスタルジーではダメ、団塊世代と若い世代との間の「和」の理解の相違。・・・などといった意見が約 100 分に亘って飛び交い、最後には「タウンミーティング開催が必要」「市全体に保険を掛けろ」などと大胆な意見が飛び出したところでタイムアップ。門内輝行先生の、「景観の価値は失われて初めて判る」「人が住みたがる環境は地域の財産」との言葉で締め括られました。

会場には他に数十名の傍聴者が詰めかけ、各テーブルを巡って議論を聴き、最後にはそちらからの発言もいくつか相次ぎ、この問題に関心をもつ市民が少なくないことを示していました。
(文：理事 辻野隆雄)



平成 28 年 8 月 28 日 景観市民会議の様子（京都市景観・まちづくりセンターにて）

◆◆◆お知らせ◆◆◆

京都景観エリアマネジメント【基礎講座】

開講日ならびに会場変更について

◆10月15日(土) 13:30-18:00 第4回①・第6回①

◇場所：ひと・まち交流館 京都 地下1階

京都市景観・まちづくりセンター ワークショップルーム

◇講師：金沢工業大学准教授 山田 圭二郎氏

京都造形芸術大学教授・ランドスケープアーキテクト 佐々木 葉二氏

*12/17 第6回基礎講座でご講義予定であった佐々木先生の講座は、10/15(土) 第4回基礎講座にてご講義いただくこととなりました。

◆11月12日(土) 13:00-18:30 第5回

◇場所：ひと・まち交流館 京都 地下1階

京都市景観・まちづくりセンター ワークショップルーム

◇講師：野村美術館館長 谷 晃氏

京都工芸繊維大学大学院准教授 矢ヶ崎 善太郎氏

未生流笹岡家元 笹岡 隆甫氏

*第5回基礎講座については、ご案内の通り変更ございません。

◆11月19日(土) 13:30-16:30 第4回②

◇場所：京都教育文化センター 2階 会議室202

京都市左京区聖護院川原町4-13

◇講師：東京大学名誉教授・GSデザイン会議代表 篠原 修氏

*10/15 第4回基礎講座でご講義予定であった篠原先生のご都合がつかなくなり、11/19(土)に京都教育文化センターにて開催することとなりました。

◆12月17日：13:30-18:30 第3回②・第6回②

◇場所：ひと・まち交流館 京都 地下1階

京都市景観・まちづくりセンター ワークショップルーム

◇講師：花園大学教授・京都大学名誉教授 高橋 康夫氏

関西大学教授・建築家 江川 直樹氏

*延期となりました、9/10 第3回基礎講座の高橋康夫先生の講座は、12/17(土)の第6回基礎講座にてご講義いただくこととなりました。

深草プロジェクトから

鴨川運河会議のシンポジウム開催について

◆10/10(月・祝) 13:30-16:30

鴨川運河シンポジウムⅡ「水辺の楽しみ」～カモガワウンガの使い方～

◇場所：京都市伏見区役所 深草支所 4階会議室

◇内容：深草を縦断する琵琶湖疏水、「鴨川運河」。昨年度の第1回シンポジウムでは、多方面の専門分野からその魅力を語っていただきました。第2回となる今回は、その魅力を活かしながら、水辺空間を地域資源としていかに使いこなすかについて、大学の研究者、他地域での実践者の方々からお話いただきます。

◇コーディネーター：飯塚隆藤氏(愛知大学准教授)

パネリスト：岡田昌彰氏(近畿大学教授)

一般社団法人中川運河チャンネルアート から

京都市上下水道局 から

鴨川運河会議・京都景観フォーラム から